

平成18年 ローソクボツケ分布量調査結果速報

北海道立稚内水産試験場資源管理部 電話：0162-32-7166

- 稚内水試では試験調査船北洋丸により、毎年9月と10月に稚内ノース場の3つの漁区で着底トロール調査を行い（図1）、ローソクボツケ（0歳魚）の分布量調査を行っています。着底トロールの曳網は原則として各漁区で2回、合計6回行います。この調査の目的は、新しく資源として加わる0歳魚の分布量を早いうちに評価し、資源の将来予測に役立てることです。
- 調査は2003年から本格的に始められました。図2に2003年から2006年までに稚内ノース場で採集されたホツケの体長を示しました。体長23cm未満のものをローソクボツケとすると、今年（2006年）は9月および10月ともに、稚内ノース場ではローソクボツケと考えられるホツケの割合は非常に少ないことがわかりました。
- ローソクボツケの分布量は2006年は他の年よりも極端に低い値と推定されました（表1）。
- 今年の9～10月の稚内ノース場におけるローソクボツケの分布量は非常に少なかったと考えられます。水産試験場では今後も各漁場におけるホツケ漁の状況を注視していきます。

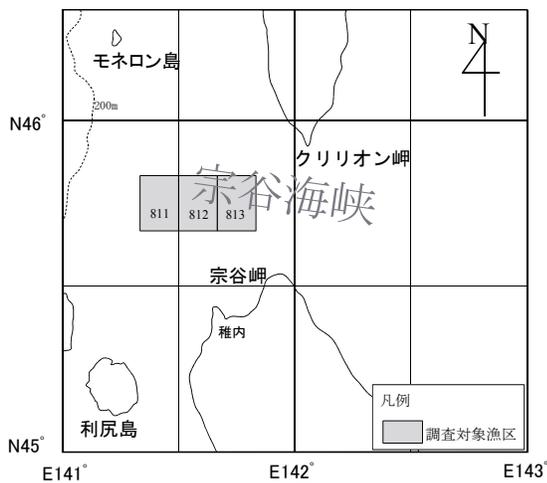


図1. 調査海域

表1.着底トロール30分曳き当たりの0歳魚の平均漁獲量(kg/30分)

調査年	9月	10月
2003年	138.7	222.0
2004年	19.8	42.0
2005年	183.7	265.4
2006年	0	0.3

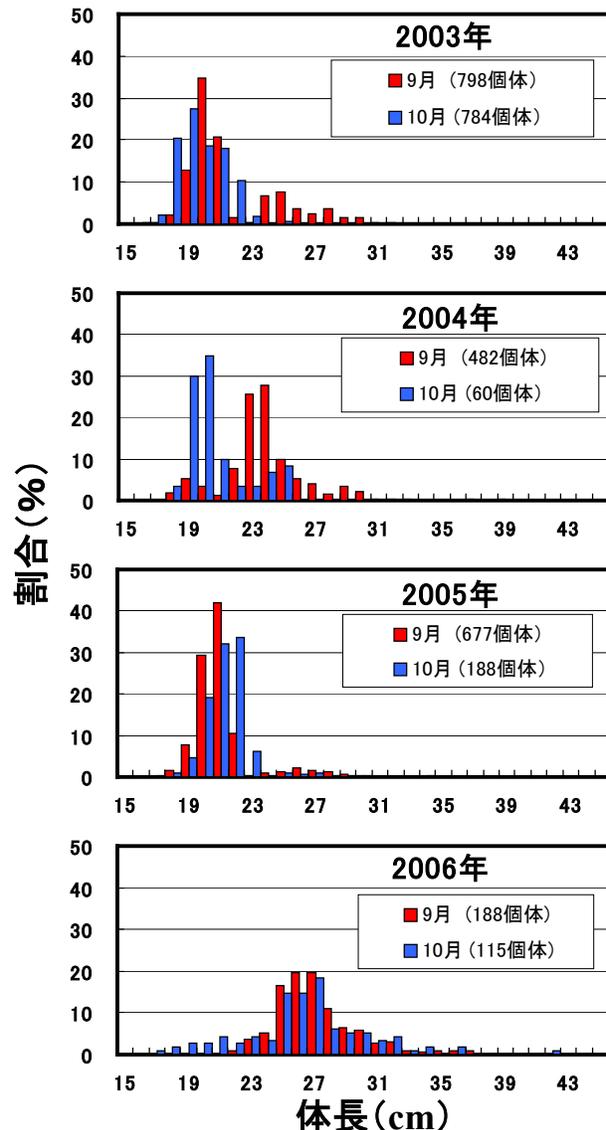


図2. 採集されたホツケの体長